

教科	課題（現状、傾向、課題分析）	改善プラン（改善のための具体策や取組）	成果(○)と課題(△)
国語	<ul style="list-style-type: none"> 教科書を音読する時に、意欲的に声に出して読む児童が多い。 話を最後まで聞けずに、途中で勝手に発言してしまう児童がいる。 発表するときに、声が小さくクラス全体に聞こえない児童が数名いる。 一斉指導した後に、同じことを質問したり、勝手に発言したりする児童が数名いる。 助詞の使い方や拗長音などの表記の習熟が十分でない。 	<ul style="list-style-type: none"> 元気よく読むだけでなく、抑揚をつけたり間を空けたりする工夫もできるようにする。 話を聞く時のルールを繰り返し確認し、互いの話に関心をもつよう意識を促す。 日直でスピーチする場や授業中に皆に向かって話す場を設け、自信をもって発言できるよう練習していく。 見通しをもって学習できるように、黒板に順序を示す。 けやきタイムや家庭学習で繰り返し取り組ませ、習熟を図る。 	
算数	<ul style="list-style-type: none"> 分かったことを意欲的に発言する児童が多い。 10までの加法や減法の計算はほとんどの児童に身に付いてきたが、指を使って求めている児童が数名いる。 計算はできるが、問題文を読み、場面を考えて加法や減法の式に表すことが苦手な児童がいる。 自分の考えを広げたり、深めたりすることが十分でない。 	<ul style="list-style-type: none"> けやきタイムや家庭学習で繰り返し取り組ませ、基礎基本の定着を図る。 具体物や半具体物を使った操作活動を多く取り入れ、加法や減法の意味理解につなげる。 自分で考える時間の後、自分の考えと比べて「同じ考え」「違う考え」など聴く視点を意識させるようにする。 	
生活	<ul style="list-style-type: none"> どの単元にも興味をもって取り組む児童が多い。 人との関わりを通して交流することがあまりできていない。 季節の変化の中で、諸感覚を使って感じたり、物事を比較したりしながらの気付きに個人差がある。 	<ul style="list-style-type: none"> 児童が主体的に取り組めるよう学習活動を工夫する。 校内で友達や他学年、教職員との関わり合いで、できることに工夫して取り組む。 諸感覚を働かせた学習をするために、活動の前にねらいを確認し、目的意識をもたせる。友達の良い気付きを紹介したり、教師が価値付けたりする。 	
音楽	<ul style="list-style-type: none"> 音楽の様子を感じ取って歌ったり身体を動かしたりすることを楽しみながら取り組んでいる。 拍を感じながら歌ったりリズム打ちをしたりする。 器楽では、指の独立した動きや基礎的な奏法を 	<ul style="list-style-type: none"> 音楽の様子を感じ取る際のポイントを明確に伝え、強弱や速さなどを感じ取ることができるようにする。 一定の拍の流れを感じ取りながら表現できるよう、電子黒板や範奏で基準を示す。 独立した指の動きにつながる常時活動を楽しみ 	

	身に付ける指導を今後も丁寧に続ける必要がある。	ながら続ける。楽器の持ち方や音の出し方を必要に応じて確認し、心地よい音色に親しめるようにする。	
図画 工作	<ul style="list-style-type: none"> ・意欲的に活動に取り組んでいる児童が多い。 ・はさみやのりの使い方に慣れていない児童が何人かいる。 ・自分の作りたいものや描きたいことが思い付かず、活動に自信がもてない児童がいる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・はさみやのりの使い方のポイントを丁寧に指導し、繰り返し練習する。 ・作例や見本を示し、活動の見通しをもち、自分のイメージを広げる。自分のイメージをもつための十分な時間を保障する。 	
体育	<ul style="list-style-type: none"> ・どの運動にも興味をもって意欲的に取り組む児童が多い。 ・素早く整列したり、集団に合わせて行動したりすることに意識が低い児童がいる。 ・苦手意識のある運動に不安になり、自分の体をうまく動かすことができない児童がいる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・本時の学習に見通しをもって取り組めるように、運動を計画する。 ・運動の前にきまりを確認し、きまりを守って楽しく活動できるようにする。 ・様々な動きを体験させ、スモールステップで、できる運動を増やしていく。 	